



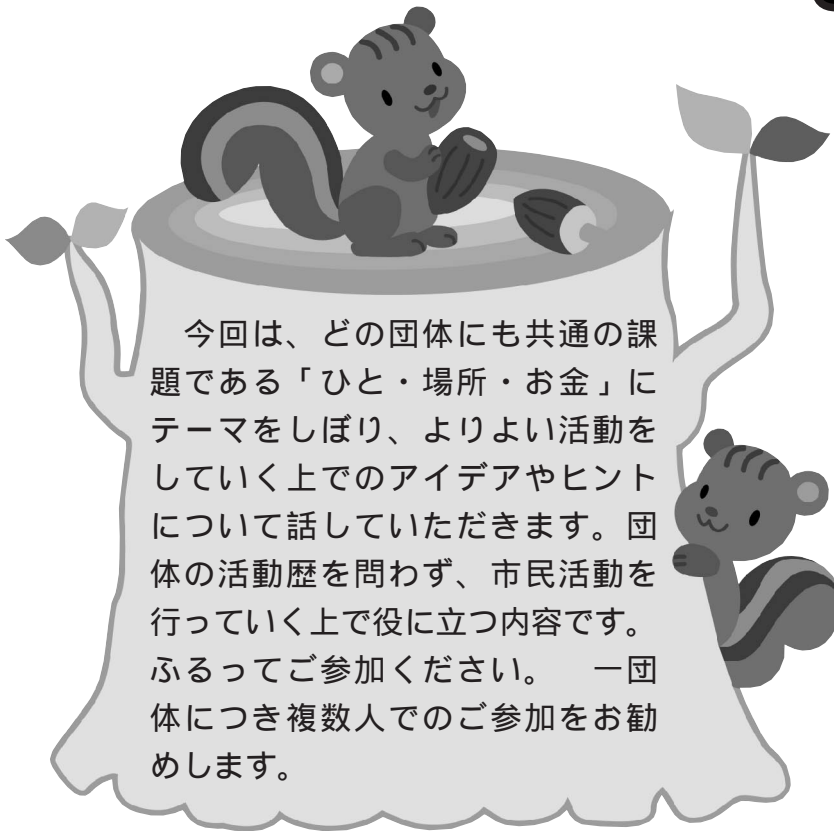
Collabo

- 1面 「NPO講座」開催のお知らせ
- 2面 HPIニューアル・貸付利子補給制度
- 3面 NPOの現場から・フェスティバル名称変更
- 4面 団体紹介・蔵書・お知らせ・他

発行 こくぶんじ市民活動センター  
発行日 平成19年11月1日

# NPO講座 を

## 開催します！



今回は、どの団体にも共通の課題である「ひと・場所・お金」にテーマをしぼり、よりよい活動をしていく上でのアイデアやヒントについて話していただきます。団体の活動歴を問わず、市民活動を行っていく上で役に立つ内容です。ふるってご参加ください。一団体につき複数人でのご参加をお勧めします。

どうする  
NPO (市民活動)に  
かかわる

ひと

場所

お金

【日時】 11月18日(日) 午後2時～5時(講座と交流会)

【講師】 熊谷紀良氏(東京ボランティア・市民活動センター 主任)

【会場】 国分寺Lホール(国分寺駅ビル8階)

【参加費】 無料

【定員】 50名

【締切】 11月10日(土)

【申込み方法】 電話、またはファクスにて

[団体名・参加者氏名(ふりがな)・参加人数・電話番号・

講座当日に聞いてみたいこと]を明記し、お申込みください。

【申込み・問合せ先】 こくぶんじ市民活動センター

TEL 042-325-0111・内線228 FAX 042-325-0140



国分寺市を拠点とする  
NPOの活動取材録

## シリーズ・NPOの現場から



平成4年9月、難病者と家族、看護師の3人が発起人となり「国分寺難病者の医療と福祉をすすめる会」（以下、難病の会）を設立。難病者とその家族、支える市民により構成され、親睦交流を図りながら、要請や啓発など難病（者）に対する理解を得る等、難病者の医療と福祉の向上をすすめる活動をしています。

難病とは、原因や治療方法がよくわかっていない病気のことです。病状も不安定で、治療期間が長期化することが多く、患者やその家族は経済的・精神的な負担がとても大きいそうです。「外見からは病気とわかりにくいいため、周囲の人からの理解が得られなかったり、正しい病名がわかるまで時間が掛かるなど問題が多い」と会長の古畑さん。また、障害者手帳は、固定した症状がないと取れないため、症状に波がある人は交付されず、難病者のうち持っているのは約4割だそうです。「難病者同士だから分かり合えることがあり、難病になったから毎日を大事にして、社会に貢献して生きたい」と“ここねっと5小”代表で副会長の藤巻さん。

毎月第1土曜日に障害者センター2階で行っている『であいの場』（定例会）には、毎回20人くらいが集まり、お茶を飲みながらおしゃべりして、情報交換や悩み相談などを行っています。また、年4回の会報『であい』の発行、学習会・講演会の開催、「新年のつどい」や野外レクなどを行い、交流・親睦を深めています。「悩みを聞いてもらったり、相談することによってアイデアをもらったりすることが、とても大事なんです」と副会長の朝倉さん。また、

## 第8回 難病者・家族・市民がともに支えあう 国分寺難病者の医療と福祉をすすめる会



創立15周年記念「帯津良一講演会」を  
Lホール満杯の市民の皆様と共に祝う

一構成メンバーとして加盟している国分寺障害者団体連絡協議会（以下、国障連）の行事や、国障連が設立母体となっている社会福祉法人「万葉の里」運営の、国分寺市障害者センター事業にも参加・協力しています。

難病の会は9月に創立満15年を経過し、記念事業として「帯津良一先生講演会」と『記念文集であい』の発行をしました。「15年も会が続いてきたのは、難病者だけでなく、一般市民の方も一緒になって活動していることが大きい。病気で苦しんでいる方や、元気な市民の方も、是非、仲間に入ってください、一緒に支えあっていきましょう！」と力強く語ってくださいました。



問合せ・入会希望等

古畑宅 042-325-7644(TEL&FAX)



今年度よりNPOフェスティバルは、  
名称が変更になります！

市民活動フェスティバル」に

7月30日(月)・9月14日(金)に第1・2回出展団体会議を開催しました。第1回の会議で「“NPO”ではなく“市民活動”を名称にいったほうがよいのでは？」との意見が出て、フェスティバルの名称変更について協議しました。「NPO=NPO法人というイメージが強い」、「NPOとしてみようと、任意団体が参加しにくいのでは？」等の意見が出され、より幅広く市民の活動をとらえられる「市民活動フェスティバル」へ名称を変更することになりました。

今後も数回の会議を重ね、団体の皆様とともに、よりよいフェスティバルになるように盛り上げていきたいと考えています。どうぞご期待ください。

市民活動フェスティバルは平成20年2月17日(日) 国分寺Lホールにて開催予定です。

来年度以降もこの名称で開催します。





# 団体紹介コーナー

団体紹介  
随時募集中!

「だんけ」は今も活動しています!

私たちは、平成5年、当時国分寺市社会福祉協議会が国分寺市より委託されておりました「高齢者給食サービス事業」を、調理ボランティア活動として開始しました。

心のこもった温かいお弁当を手作りし、作る人・食べる人がともに心温まる人の集まる「暖かい家」ということとドイツ語のダンケシェーン「感謝」をもじって だんけ と名づけました。

以来、平成18年3月まで、市内の一人暮らしの高齢者を中心に60,342食の昼食を届けた実績を残しました。

平成18年4月以降は自主グループとして、元国分寺市高齢者給食センター(現ひかり学童保育所)を拠点に月2回(第1水曜日・第3木曜日)地域のお年寄りをお呼びし、健康推進(介護予防)のため、また、ボランティア自身の生きがいのための活動を継続しています。平成18年11月からは障害者センター「つばさ」事業の食事作りにも関わらせていただき、地域貢献を喜んでおります。

連絡先 河崎 042-323-3568



## センター蔵書を 読んでみました!

書名: 『コミュニティビジネスの成功法則』  
著者: 特定非営利活動法人  
コミュニティビジネスサポートセンター  
出版年: 2006年  
出版社: PHP研究所



本書は、コミュニティビジネスを学び、その良さと課題を踏まえて多くの方が地域で活動の第一歩を踏み出してもらうことをねらいとして書かれている。そして、コミュニティビジネス(以下CBという)とはなにか、について具体的活動事例を挙げ解説し、全国のCBの取り組みについて述べ、地域ネットワークづくりのポイントと成功のカギがどこにあるのかに言及し、CBの支援策とその成果についても説明している。CB成功者から学ぶことや、心の持ち方、必要な業務内容など、成功と失敗のポイントが示され、これからCBを立ち上げようとしている個人、団体の方には大いに参考になる内容になっていると思われる。

# お知らせ

利用登録更新 お済みでない団体はお早めに!

9月中旬に各団体へ登録更新についての書類をお送りしましたが、センター登録を引続き希望していて、まだ更新申請がお済みでない団体は、お早めに手続きを行ってください。

登録更新手続きを行っていない団体は、平成19年11月1日以降市民活動センターの機器および会議室の利用ができなくなりますので、ご注意ください。

## 提案型協働事業



公開プレゼンテーション(事業内容の説明)を開催します!!

市では今年度から市民活動団体が市に対し事業提案できる制度を創設しました。

提案された事業は、市が設置する審査会による審査(書類審査・プレゼンテーション審査)を経て事業化されます。

提案団体による公開プレゼンテーションを開催しますので、市民の皆様のご来場をお待ちしております。

【日時】11月16日(金)午後1時~4時

【会場】市役所本庁舎3階第3委員会室

当日直接会場へ



文化コミュニティ課(内線541)

## 編集後記

団体の方々が、ポジティブに、アクティブに、心豊かに活動されていることに、感動し続けています。気がつけば、心にビタミンが蓄積され、元気をいただいているのだと、常日頃感じています。(よ)

発行・編集 こくぶんじ市民活動センター(市民生活部文化コミュニティ課)  
〒185-8501 東京都国分寺市戸倉 1-6-1  
TEL 042-325-0111・内線228 / FAX 042-325-0140  
e-mail kccpc@t.iara.ocn.ne.jp  
http://www.collabo-kokubunji.com  
開館時間 9:00~17:00 年中無休(ただし年末年始を除く)  
平成19年11月1日発行

